

第 11 回富山県食品ロス・食品廃棄物削減推進県民会議の概要

1 日 時 令和 4 年 3 月 25 日（金）13：30～15：00

2 場 所 富山県民会館 3 階 304 会議室

3 内 容

（1）議 事

- ア 富山県食品ロス削減推進計画に基づく食品ロス等削減に係る取組みについて
- イ 意見交換

4 主な意見の概要

<食品ロス削減対策全般>

- ・ 世界的にも 2050 年にゼロカーボンを目指すという大きな流れがあり、その中でもエネルギーの問題だけではなく、資源循環のところ特にプラスチックの問題と、食品ロス削減というのは大きなテーマになっている。全世界のCO₂排出の約3分の1は食料に関わることである。ゼロカーボンに向かう動きの中で、食品ロスというのを、真っ先に取り組んでいくというのは大変重要。
- ・ 廃棄の現実や問題がどうなっているのか、という点をわかっているようでわかってない部分がある、と感じる。例えば、処分業者の方がこの県民会議の中に入れば、現実合った問題点に分かるのではないかと。また、色々な知恵も逆に出てくるのではないかと。

<事業系食品ロス>

- ・ 食品ロス削減に係る成果は、小売での発生よりも製造や卸での発生が多いので、どの程度成果があったかということこれから共有しながら、次の問題点を探していかなければならない。

<未利用食品の有効活用>

- ・ フードドライブの無人化実証実験は興味深く、将来的には、皆で集めるより、小さな単位でそこに必要なものを持って行く、という形にできればよい。
- ・ 食品リサイクル法の中に再生利用事業計画の認定制度がある。飲食店等でそれぞれ発生している食品廃棄物をまとめて、うまく活用できれば、より食品廃棄物を循環資源として活用できるようになる。